

みんなの広場

「手紙」

ともしび会 高須賀ふじえ

電話という便利な物が世の中の隅々にまでゆきわたり指先一本で相手の声が聞える様になりました。これを利用しない者はいない筈です。でも私は文字を書いて自分の意志や感情を傳へ心のふれ合いを求めて行く事は大変よい事だと思っています。それは私にとり手紙を書く事です。園生の皆さんと何時も心の通じ合う場をと希う気持ちで拙い手紙を書き始めてから暫くたちました。大した役にもたない一人よがりのおしゃべりのようではずかしく思います。がやめたかと思つた事はありません。私の眼と手が動くかぎりは書きたいと思つています。無力の私には立派な理窟などは書けません。花が咲いたとか小鳥が啼いたとかきくと他愛もないことになるでしょう。でも園生の皆さんがそれを読んで下さり少しでも何かを感じとって下さったら幸いです。二月の空はもうすっかり早春の色になりました。ささやかな心のプレゼントを私の良心の命ずるままにつづけて行きたいと思う今日この頃です。

「三恵ホームを訪問して」

東谷小五年 中岡 貴子

三恵ホームを訪問して、手などがつかえない人や、足であるけない人などいろいろな人がいました。そういう人でも、習字や絵、などわたしとくらべてとてもきれいでした。わたしもあんなにきれいに書きたいなあと思いました。でも、やっぱりわたしには、きれいな字は、書けません。

歌を、歌っている声は、ふつうの人と同じように歌っていました。それに、ねたつきりで、歩けない人もいました。そういう人は、自分でやりたいことなどがあまりできないので、不便です。わたしたちは、自分でやりたいことがあったらなんでもできます。

わたしは、訪問して、いろいろなことがわかりました。しゃべれない人は、何か、いいかかってあまりわからないのでとても不便です。でも、そんなことにかまわずがんばっているの、すごいと思います。わたしたちは、不便をしなくてもいいので、まげずにがんばっていききたいです。

新入所者紹介

ようこそホームへ！

小池 光子さん

昭和十九年一月十七日生

平成二年二月一日入所

松山市春日町出身

十全附属病院でリハビリ訓練に励んでおりましたが、この度当ホームに入所されました。

大変おとなしい方で、毎日テレビを見たり、読書をしたりして過されています。

一日も早く園の生活に慣れていただきたいと思つています。

渡部 房子さん

昭和十年十二月七日生

平成二年三月一日入所

周桑郡丹原町出身

愛寿会病院から入所されました。

音楽が大変好きで、又、明るくて努力家です。

